

# あわらし定例記者会見

令和4年4月5日(火) 10:00～

あわらし役所203会議室

## 1 市長市政報告

- (1) 令和4年度の市政運営について
- (2) ICTアドバイザーの受入れについて
- (3) 「あわらしゼロカーボンシティ宣言」について

## 2 4月のイベント、主な行事予定等について

5日(火)	10:00～	4月市長定例記者会見	(市役所)
	13:30～	全員協議会	(全員協議会室)
8日(金)		市内小中学校入学式	(各小中学校)
10日(日)	10:00～	あわらし市連合婦人会総会	(中央公民館)
	13:30～	春をつげる箏曲コンサート	(吉崎御坊蓮如上 人記念館)
11日(月)	7:00～	早朝一斉街頭指導	(市内)
14日(木)	10:00～	PFUブルーキャッツ表敬訪問	(市役所)
16日(土)	10:00～	KOSEI KOMATSU EXHIBITION 光と影のモビール (金津創作の森美 森の夢 (6/12(日)))	(術館)
17日(日)	7:00～	嶺北消防組合あわらし消防団春季火災防ぎょ訓 練	(北潟地係 北潟 公民館付近一帯)
19日(火)	9:30～	ミニ展示「令和3年度新指定文化財展示」 (～5/15(日))	(郷土歴史資料 館)
27日(水)	10:00～	5月市長定例記者会見 (予定)	(市役所)

# ゼロカーボンシティ宣言

めざせ！ゼロカーボンシティ あわら

令和4年4月5日

あわら市市民生活部 生活環境課

# あわら市が目指す環境像

## 1 基本理念

### 基本理念1 脱炭素化の実現

地球温暖化による気候危機を打破するためには、一人一人ができることから、「脱炭素化」を推進することです。

### 基本理念2 自立・分散型社会の創造

自立・分散型社会の原点は、食やエネルギーの地産地消であり、これまでの循環型社会や自然共生社会に通じるものです。そして、食とエネルギーの地産地消は、ともに脱炭素化につながります。

### 基本理念3 市民・事業者・行政のパートナーシップで実現

市内全域に環境への取組が浸透し、市や事業者による自主的な取組が促進されることが重要です。このため、すべての市民・事業者・行政などの関係機関がフラットにつながり、協働して脱炭素に取り組めます。

**めざせ！ 自立・分散型のゼロカーボンシティ あわら**

## 2 基本目標

目標1 脱炭素化の行動を展開する

目標2 地域循環社会共生社会をつくる

目標3 地域資源を保全・活用する

目標4 パートナーシップによる推進体制をつくる

## 3 計画期間

**2022年度から2030年度**

## ～ 市民が取り組むこと ～

### 1 省エネ行動

- 自動車を購入する際は、電気自動車や燃費及び排気ガスなどの環境性能に優れた車種を選びます。
- 自動車の排気ガス削減のため、エコドライブに努めます。
- 使用していない電気（照明、テレビなど）は消します。
- 可能な時は自転車、徒歩、電車などで移動します。
- 引っ越しやマイホームを建てる際は、スマートホームを選びます。
- 電化製品の買い替えにあたっては、積極的に省エネ家電を購入します。
- 着衣の工夫や外気、太陽光を取り入れるなど、冷暖房の設定温度を見直します。
- 太陽光発電の導入など、自然エネルギーの活用を検討します。

### 2 ごみの減量

- 商品の過剰包装を断り、エコバックの使用を心掛け、使い捨て容器の使用を避けます。
- ペットボトルなどの飲料の購入を控え、出かける時などは、マイボトルを持参します。
- 徹底したごみの分別を心掛けます。
- 食品はできるだけ食べきり、生ごみは水切りして減量してから捨てます。
- すぐに調理する際などは、消費期限の短い食品を購入します。
- 使用しなくなったものは、フリーマーケットに出品するなどリサイクルを心掛けます。
- 手入れや修理をしながら、ものを大切に使い、再利用にも努めます。

### 3 環境に対する積極的な行動

- 市内で活動する環境ボランティア団体などへ積極的に参加します。
- 自然体験学習などの環境学習などへ積極的に参加します。
- 輸送や生産に必要なエネルギーが少ない、地産地消や旬の食材の購入を心掛けます。
- 洗剤の購入の際には、成分表示を確認することや使用量を適量にするなどの意識を心掛けます。
- 世界で起こっている環境問題と私たちの生活との関連を考え、解決に向けて身近にできることから行動します。

## ～ 事業者が取り組むこと ～

### 1 省エネ行動

- 事業所などの建物を建て替える際には、エネルギー消費ゼロを目指すZEBやZEHを検討します。
- 省エネルギー性能の高い設備・機器等、高効率な設備への更新を検討します。
- 従業員の公共交通機関や自転車の利用、エコドライブの推奨、電気自動車などの環境性能にすぐれた車種の購入、輸配送の効率化など事業活動による低炭素化を進めます。
- 太陽光発電などの導入など、自然エネルギーの活用を検討します。

### 2 ごみの減量

- ペットボトルなどの飲料の購入を控え、事業所では、マイボトル・マイカップを利用します。
- すぐにごみとして排出されるものを作らない、使わない、売らない、また分別しやすいなど、4Rの推進に協力します。
- リサイクルの推進、また再正製品の利用・活用など循環社会の構築に貢献します。
- 事業所での省電力化・再資源化を進め、事業系ごみの排出や産業廃棄物の減量に取り組みます。

### 3 環境に対する積極的な行動

- 工場や事業所における騒音・振動・悪臭の防止に努めます。
- 市民・民間団体・市が行う環境保全活動や地域の清掃、美化活動などに参加・協力します。
- 事業活動における自然環境への配慮に努めます。
- 建物の屋上・壁面緑化を推進します。



## あわら市ゼロカーボンシティ宣言 ～豊かな環境を未来へ繋ぐ～



地球温暖化を起因とする気候変動は、近年、人類や生態系に影響を及ぼす深刻な問題となり、世界各地で猛暑や集中豪雨などの自然災害が頻発しています。我が国でも、甚大な自然災害が繰り返し発生しており、今後、災害等のリスクがさらに高まることが予測されています。

2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書において、「産業革命からの平均気温上昇の幅を2℃未満とし、1.5℃に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする必要がある」と示されています。

我が国では、2020年10月の内閣総理大臣所信表明において「2050年に脱炭素社会の実現を目指す」ことが宣言されました。

このような中、あわら市では、本年3月に、脱炭素化に向けた数値目標と行動方針を示す「第2次あわら市環境基本計画」を策定いたしました。あわら市は美しい自然に囲まれ、温泉が沸き出で、農業や商工業、観光業が盛んなまちです。この豊かな環境を次世代へとつないでいくためには、市民や事業者、市が協働して、脱炭素に取り組まなければなりません。

あわら市は、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにするために「ゼロカーボンシティ あわら」の実現を目指すことをここに宣言いたします。

令和4年4月5日

あわら市長 森 之嗣